

第1回 MJJ 宮城県女子柔道交流会

「柔道の楽しさ再発見！オンラインミーティング」 実績報告書

- 1、 目的 ①卒業や結婚、子育てを理由に柔道から離れてしまった方や、保護者などでご自身も柔道に興味がある方など、様々な女性に柔道への興味を深めてもらう。
②出身や経歴に関係なく、誰もが楽しめる「柔道の間」を作ること、柔道を身近に感じてもらう。
- 2、 日時 令和2年12月6日（日）
- 3、 会場 オンラインによる Web ミーティング
- 4、 内容 意見交換会
- 5、 主催 宮城県柔道連盟
- 6、 参加人数 16人
- 7、 交流イベント内容

① 開会宣言 南條和恵先生

② 宮城県柔道連盟会長挨拶 代読 佐藤有功先生

通常であれば関係者の皆様が集まっての開催となるのだろうが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、第1回宮城県女子柔道交流会がオンラインで行われることになったことは新しい挑戦で意味のあることである。

宮城県の柔道登録者数は昨年約 3100 人→今年 2600 人に減少、そのうち女性の登録者数が 600 人弱である。役員は現在 70 名、そのうち女性は 4 名であり、今後ますます女性が活躍することを期待したいというご挨拶を頂きました。

③ 世界柔道を楽しく観戦しよう

前オリンピック日本女子代表監督の「南條充寿氏」による世界柔道の観戦ポイントおよび新ルール解説 〈世界の柔道を知ろう！最近の世界の柔道事情！〉

いよいよ東京五輪が迫ってきました。

オリンピックの歴史や柔道の歴史、オリンピックに出場するためには？？みなさんが知っているようで知らないことを元全日本監督の南條充寿先生に説明して頂きました。



④ プチ対談

宮城県が生んだ名選手「海老沼香菜（元日本代表）〈旧姓阿部〉」と恩師「佐藤明代氏（東北高校）」による対談

南條和恵先生の司会により対談が行われました。

幼少期より柔道を辞めずに続けてきた理由→試合で勝った時の喜びや嬉しさ、周囲の応援に応えたいという気持ちがあったから続けてくることが出来た。

高校時代の経験→先生と日本一になりたいと思ったこと。残念ながらインターハイの決勝で敗れた悔しい経験が（2人で抱き合って号泣）後に世界選手権へ2度出場することにつながったこと。

阿部選手が日の丸をつけるかも？と思ったエピソードなど。

宮城の柔道をやっている子供たちへのメッセージ

海老沼→小さなことでもいいので、目標を持って取り組んでほしい。そうすることによって、大きな目標が出来た時に歩むことが出来る。

佐藤→まずは柔道を楽しんでやること。最終的に、ワクワクして試合ができるようになってほしい。

南條和恵先生の名司会により、笑いの絶えない対談となりました。



2013年世界選手権の試合終了後。海老沼香菜選手と佐藤明代氏

⑤ 柔道なんでも座談会

柔道好きなら誰でも参加OK!

JUDO 愛を語りましょう♡

参加者1人ひとりから、近況とこの会についての意見や要望をお話いただきました。

詳細は以下の通りとなります。当日、闘病中の田邊あいさん（現星槎国際高校仙台校教員・東北高校→国士舘大学卒業）も参加してくれました。

柔道を続けてきてよかった。柔道を通して物事と向き合うこと、私生活を充実させることの大切さ、人間形成をしてもらった。今このような状況になって、若い時に頑張っていたからこそ、色んな方が声をかけてもらい、感謝しているし励みになっている。柔道の楽しさ+αのことを学ばせてもらうチャンスを自分の子供たちにも与えたい。オンラインで開催してもらって自分には良かった。とのお話に参加者みんな涙が出ました。



闘病中にも関わらず参加していただいた
田邊あい氏



オンラインでの参加の様子

☆宮城県内で柔道をする事が出来るオープンな場所が必要

運動をしている人はみんな顔つきが明るくなる。それを柔道に生かすことはできないか？
運動の中に柔道に近い動きをいれる etc

☆柔道の体験をできるような期会があればいい

☆最終的には宮城県と北海道で交流したい。なかなか宮城に来ることは出来ないのではオンラインでの開催はありがたいし、次回も是非参加したい。(宮城県出身・北海道網走市在住)

☆障害児参加も可能な体験会を開催してはどうか？

☆試合は行えないが、子供たちの笑顔が見ることが嬉しいし大切 (道場経営者)

☆柔道から少し離れた人でも軽い気持ちで身体を動かしてみようという会があると嬉しい。障害を持っている人でも参加できるようになるといい。

☆強化することだけでなく人を育てることが大切。ファミリーで参加することのできる会の開催 etc

☆小さい子供がいるのでオンライン開催はありがたい。

★〈娘さんが柔道をやっている保護者の方より〉質問頂きました。

重量級のファッションについて→思い切って体の線を出す洋服を着る
→大きい店があるから大丈夫
という元重量級からの貴重なご意見!!

指導者として大切にしていること、これだけはやらないと決めていること
→体罰 (やらない)」

→努力することの大切さ（大切）

男子と練習することのメリットデメリットについての質問

まとめ

宮城県では初めてのオンライン交流会開催ということで、コロナ渦の中、どのように開催することが望ましいか、試行錯誤しました。結果的にはオンラインで良かったという声を多くいただき、嬉しい限りです。

次回開催に向けて、情報発信の仕方や開催の在り方について課題はありますが、現時点では精一杯の出来ではなかったかと考えています。

宮城県の女子柔道の歴史の中で島谷順子先生が先駆けとして活躍していらっしゃいました。先生のご苦勞があったからこそ、今、私たちがこの活動をする事が出来るということを忘れてはなりません。今回宮城県柔道連盟会長佐藤幸二先生のご配慮でこの会を開催することが出来ました。大切なことはこの会をいかに継続させるかだと考えています。卒業、結婚、出産を経ても戻って来ることの出来る環境、柔道に関わってくれる人たちを一人でも多くしていくこと、そのためにはどのような活動を行えばいいかを考え、活動していきます。宮城の女子柔道交流会(MJJ)のメンバーは、今後も引き続き宮城の女子柔道の普及発展に尽力したいと考えております。



最後に記念撮影



エコバックMJ Jを作成